

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況

(理念)

尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)

尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取り組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じて、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

○医療連携推進業務に係る取組の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	・ グループ内施設の機能分化	特定機能病院である藤田保健衛生大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、医療法人贈恩会小嶋病院及び医療法人清水会相生山病院は、地域医療構想の枠組みの中で、それぞれ回復期機能への転換及び充実化を検討しております。	地域包括ケアシステム構築への貢献と地域医療のニーズを踏まえ、機能分化を図っている。相生山病院では、今年度、3階病棟（療養病棟）54床のうち地域包括ケア病床を25床から37床に転換した。来年度には3階病棟54床を全て地域包括ケア病床への転換を予定している。また、小嶋病院では、病棟の一つを回復期リハビリテーション病棟へ変更することを継続検討中である。
	・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の相互派遣を実施し、回復期機能や在宅医療を充実	特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて派遣を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。	いくつかの参加法人より医師や看護師、理学療法士等の派遣の要望があり、まずは当会より藤田保健衛生大学病院へ依頼し、特に必要性の高い地域の施設（高須病院及び南生協病院）に対し、医師の派遣を開始している。その他、別の施設に対し、同じく医師の派遣を検討中である。また、看護長クラスの管理者を要望する施設（辻村外科病院）へ、藤田保健衛生大学病院よりベテラン看護師を転籍させた。 なお、これらの要望に対応できる仕組み（システム）を構築中である。 ＜派遣等の状況＞ 高須病院へ医師2名（2日/週）、南生協病院へ医師1名（1日/週） （検討中）第一なるみ病院、北斗病院 辻村外科病院へ看護師1名（転籍）
	・ 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実	藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。研修メニューは、每期、地域ニーズに合わせたプログラムを検討し、毎月の開催を予定しております。	藤田保健衛生大学病院が主催する研修会等へ、平成29年度末までに22法人延べ272名が参加（内訳：別紙①参照）している。また、参加施設（北斗病院）より透析センターの新規開設に伴う人工透析における「看護業務研修」の要望があり、藤田保健衛生大学病院において当該施設の看護師12名に対し研修を実施した。さらには、「感染対策研修会」の講師依頼があった施設（社会福祉法人福田会特別養護老人ホーム豊明苑）へ藤田保健衛生大学病院の感染対策認定看護師が講師として赴き、職員44名が参加する研修会を行った。
	・ グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立	高度急性期医療を担う藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。平成30年度にまず1施設へ導入し、平成31年度以降、希望する法人から順次接続いたします。	各参加法人に対し、現在使用する電子カルテシステムの名称および導入・更新時期等の確認調査を実施した。藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを参加法人へ拡張する方法を検討中である。患者情報の電子的共有化の先駆けとして、インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「藤田医療情報ネットワーク（ID-Link）」への登録を全参加施設に促し、尾三会事務局員と藤田保健衛生大学病院のシステム担当者がシステムの設置・設定を順次行っている。（12施設設置済） また、画像システムの共有化についても企業と共同で検討している。 ＜設置済12施設＞ ジャパン藤脳クリニック、北斗病院、みどり訪問クリニック、並木病院 富田病院、葵セントラル病院、辻村外科病院、小嶋病院 一里山・今井病院、山尾病院、総合青山病院、宇野病院、秋田病院

	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故調査等に関する業務の連携 	<p>医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田保健衛生大学を中心に、グループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。</p>	<p>藤田保健衛生大学が運営する「藤田あんしんネットワーク」へ参加施設に加入していただき、医療事故に関する24時間365日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えた。さらに、参加法人関連施設の18施設及び4事業所（内訳：別紙②参照）も加えて入会した。</p> <p>また、参加施設より相談があり、当会より藤田保健衛生大学病院へ依頼し、同病院の医療の質・安全対策部担当者および常勤の弁護士等が当該施設へ赴き、これに対応し適切なアドバイスをするなど支援を行った。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>平成29年4月に医薬品購入状況の調査を実施し、平成29年6月中に共同購入希望施設向け説明会を実施する。実質的な運用は平成29年10月から始めます。</p>	<p>当該事業への参加希望調査を実施した。参加希望の法人に対し、昨年度医薬品購入価格データの収集および事前説明会を2回（6月15日・9月7日）開催した。10月1日より購入価格の一括交渉業務を運用開始し、平成29年度末までに8法人12施設が参加した。平成30年2月26日には、平成29年度の結果報告会を開催している。</p> <p>＜参加法人（参加施設）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療法人清水会（相生山病院、豊明老人保健施設） 医療法人なるみ会（第一なるみ病院） 医療法人コジマ会（ジャパン藤脳クリニック、介護老人保健施設みどり） 医療法人愛整会（北斗病院、岡崎整形外科） 医療法人十全会（三嶋内科病院） 公益財団法人 豊田地域医療センター 医療法人利靖会（前原整形外科リハビリテーションクリニック、前原外科 整形外科 小児科） 医療法人社団福祉会（高須病院）
	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>平成29年4月からグループ内施設で共通で購入する医療機器の交渉依頼の申し出があった場合には交渉を開始いたします。</p>	<p>各参加法人に対しニーズ調査を実施し、価格交渉の要望のあった診療材料および医療機器について、メーカー・卸業者との交渉を開始した。また、藤田保健衛生大学病院が取引するメーカー・卸業者へ依頼し、より安価に販売できる診療材料および医療機器を提案させ各参加法人へ案内しており、購入を希望する施設へメリットが得られるような価格での販売を促す交渉を実施している。</p> <p>また、参加施設より、施設内で使用頻度が少ない手術用の高額医療機器の借用希望があり、当会より当該機器を多数所有する藤田保健衛生大学病院へ依頼し、3月29日に貸出した。今後、これらの要望に対応できる仕組み（システム）を構築することが課題である。</p> <p>＜価格交渉希望施設＞ 特別養護老人ホーム豊明苑、一里山・今井病院、富田病院、葵セントラル病院</p> <p>＜医療機器借用施設＞ 第一なるみ病院</p>
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化 	<p>平成29年4月からグループ内施設で共通で購入する医療機器の交渉依頼の申し出があった場合には交渉を開始いたします。</p>	<p>学校法人藤田学園が平成32年に開院を予定している「岡崎医療センター」（400床）へ、藤田保健衛生大学病院にて運用している「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を検討している。</p>
<p>介護事業その他地域包括ケアの推進に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供 	<p>既に豊明市において藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。</p>	<p>藤田保健衛生大学の「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田保健衛生大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化 	<p>前述の藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた24時間365日オンコール体制によるバックアップ、24時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。</p>	<p>尾三会の医療連携推進区域において、藤田保健衛生大学の「地域包括ケア中核センター」と同様の施設を設置し、藤田保健衛生大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 介護・医療従事者等の相互派遣を通じた在宅診療等の充実 	<p>各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への派遣を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。</p>	<p>参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者を相互派遣する仕組み（システム）を構築中である。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立 	<p>前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。</p>	<p>患者情報の電子的共有化の先駆けとして、インターネットを通じ診療情報を閲覧するシステムである「藤田医療情報ネットワーク (ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、尾三会事務局員と藤田保健衛生大学病院のシステム担当者がシステムの設置・設定を順次行っている。</p>

別紙① 藤田保健衛生大学病院が主催する研修会等への参加状況

開催日	研修会名	施設	人数
5月11日	第7回豊明緩和医療研究会	1施設	10名
5月11日	ICTセミナー(結核)	1施設	1名
5月17日	第71回NST勉強会	3施設	3名
5月23日	放射線科 学生・技師合同カンファランス	6施設	10名
6月8日	緩和医療 合同WEBセミナー	3施設	3名
6月14日	第72回NST勉強会	1施設	3名
6月21日	LiveSymposium 地域連携2017	4施設	8名
6月24日	第2回多職種実務スキルアップ講習	4施設	9名
6月27日	放射線科 学生・技師合同カンファランス	1施設	2名
6月27日	ICTセミナー(敗血症)	2施設	2名
7月11日	看護部 褥瘡ケアの基本	1施設	1名
7月13日	第73回NST勉強会	2施設	4名
7月15日	第3回多職種実務スキルアップ講習	6施設	9名
7月20日	ICTセミナー(髄膜炎)	1施設	1名
8月3日	放射線科 学生・技師合同カンファランス	4施設	6名
8月10日	ICTセミナー(髄膜炎)	1施設	1名
9月6日	第2回感染対策研修会	3施設	5名
9月12日	KYT研修会	2施設	5名
9月13日	禁煙支援セミナー	1施設	1名
9月13日	第74回NST勉強会	2施設	5名
9月14日	ICTセミナー(小児ウイルス感染症)	1施設	1名
9月15日	看護部 スキンケアの予防と管理	1施設	3名
9月16日	看護部 認知症ケア教育研修	2施設	15名
9月21日	KYT研修会	1施設	3名
9月22日	褥瘡勉強会(薬剤/栄養管理)	4施設	4名
9月26日	KYT研修会	1施設	2名
10月4日	禁煙支援セミナー	1施設	1名
10月6日	第2回安全管理研修会	3施設	3名
10月7日	看護部 がんサポーターケア研究会	1施設	1名
10月11日	第75回NST勉強会	1施設	1名
10月12日	ICTセミナー(腸管感染症・ノロウイルス感染症)	6施設	8名
10月12日	低侵襲画像診断・治療研究会 第13回セミナー	1施設	1名
10月14日	東名古屋2025年問題を考える会	3施設	5名
10月27日	褥瘡勉強会(スキンケア/テープの貼り方・剥がし方)	3施設	3名
10/18~5日間	《他施設依頼》看護部 透析看護業務研修	1施設	12名
11月4日	看護部 がんサポーターケア研究会	1施設	2名
11月9日	ICTセミナー(インフルエンザ)	6施設	8名
11月10日	医療法改正後の認定医療法人制度に関するセミナー	1施設	2名
11月15日	認知症ケアチーム研修会	1施設	1名
11月15日	《他施設開催》看護部 感染対策研修会	1施設	44名
12月11日	認知症ケアチーム研修会 DVD上映会	1施設	4名
12月12日	ICTセミナー(皮膚・軟部組織感染症)	2施設	3名
12月16日	第1回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	3施設	9名
12月19日	ME機器取扱い説明会	1施設	4名
12月20日	第77回NST勉強会	1施設	1名
12月20日	職員のためのこころの健康セミナー	3施設	8名
1月10日	第78回NST勉強会	1施設	1名
1月11日	ICTセミナー(深在性真菌症)	1施設	1名
2月10日	第2回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	3施設	12名
2月15日	ICTセミナー(耳鼻科領域感染症)	2施設	2名
2月28日	ICTを用いた地域医療から国際医療への展開	1施設	1名
3月8日	ICTセミナー(尿路・性器感染症)	1施設	2名
3月14日	第79回NST勉強会	1施設	1名
3月15日	低侵襲画像診断・治療研究会 第16回セミナー	1施設	1名
3月23日	保険診療講習会	5施設	11名
3月29日	ME機器取扱い説明会	2施設	2名

施設	人数	職種	人数
福田会	66	看護師(准看護士)	76
利靖会	39	介護士(職)	58
名翔会	20	管理栄養士	27
一里山・今井病院	19	事務員	25
清水会	18	相談員	19
北斗病院	16	臨床検査技師	17
イースト・ヴィレッジ	15	放射線技師	16
富田病院	13	理学療法士	7
第一なるみ病院	10	看護助手(補助)	6
葵セントラル病院	9	ケアマネジャー	6
あかいかい寿老会	8	MSW	4
豊田地域医療センター	8	保健師	3
善常会リハビリテーション病院	7	言語療法士	2
辻村外科病院	7	医師	2
並木病院	5	作業療法士	2
三嶋内科病院	3	薬剤師	1
ジャパン藤脳クリニック	2	臨床工学技士	1
小嶋病院	2		
みどり訪問クリニック	2		
南生協病院	1		
秋田病院	1		
ほほえみ	1		

22法人 272名

5月	24
6月	27
7月	15
8月	7
9月	44
10月	35
11月	57
12月	29
1月	2
2月	15
3月	17

272名

別紙② 藤田あんしんネットワーク入会 尾三会関連施設一覧<<18施設4事業所>>

施設名	関連施設名
医療法人清水会 相生山病院	医療法人清水会 豊明老人保健施設
	医療法人清水会 豊明第二老人保健施設
	医療法人清水会 ひかり老人保健施設
	医療法人清水会 まこと老人保健施設
	医療法人清水会 リバーサイドケア赤池
	医療法人清水会 グリーンヒルズケア相生
	医療法人清水会 杓掛訪問看護ステーション
	医療法人なるみ会 訪問看護ステーションなるみ
医療法人なるみ会 第一なるみ病院	医療法人なるみ会 なるみ会ケアプランセンター
医療法人並木会 並木病院	医療法人並木会 介護老人保健施設 メディコ阿久比
	医療法人並木会 介護老人保健施設 メディコ平針
医療法人愛整会 北斗病院	医療法人愛整会 岡崎整形外科
	医療法人愛整会 岡崎北斗訪問看護ステーション
医療法人葵 葵セントラル病院	医療法人葵 葵クリニック西岡崎
	医療法人葵 美合クリニック
	医療法人葵 日名透析クリニック
医療法人贈恩会 小嶋病院	医療法人贈恩会 知多小嶋記念病院
医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック	医療法人利靖会 介護老人保健施設 キュア北崎
社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム 豊明苑	社会福祉法人福田会 障害者支援施設 ゆたか苑
医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院	医療法人財団善常会 老人保健施設 シルピス大磯
医療法人社団福祉会 高須病院	医療法人社団福祉会 介護老人保健施設 高須ケアガーデン
医療法人秀麗会 山尾病院	医療法人秀麗会 介護老人保健施設やまお

(写)

29医務第2036号
平成30年3月16日

地域医療連携推進法人尾三会
代表理事 星長 清隆 様

愛知県健康福祉部保健医療局長
(公 印 省 略)

地域医療連携推進法人に係る事業報告書等の届出等における
留意事項について (通知)

地域医療連携推進法人においては、医療法(昭和23年法律第205号)第70条の14において準用する同法第52条第1項の規定により、毎会計年度終了後三月以内に、事業報告書等を提出することとされております。

また、貴法人においては、平成29年4月2日付け29医務第85号による認可にあたり、付帯決議事項の2として「法人運営がその理念通り適切に運営されている状況について、愛知県医療審議会医療体制部会に、毎年報告すること。」とされております。

つきましては、事業報告書等の届出にあたっては、平成29年2月17日付け医政支発0217第3号厚生労働省医政局医療経営支援課長通知「地域医療連携推進法人の事業報告書等の様式について」による様式のほか、別添様式等により、法人運営がその理念通り適切に運営されている状況を報告してください。

担 当 医務課医療指導グループ(丹羽)
電 話 052-954-6275
ファックス 052-954-6918
電子メール imu@pref.aichi.lg.jp

地域医療連携推進法人尾三会の医療連携推進方針に係る取り組みの状況

<p>(理念) 尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。</p>	
<p>(運営方針) 尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取り組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じて、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。</p>	
<p>① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実を促進いたします。</p>	
<p>② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。</p>	
<p>③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。</p>	

○医療連携推進業務に係る取組の状況（平成 年 月 日現在）

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等
<p>病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設の機能分化 	<p>特定機能病院である藤田保健衛生大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、医療法人贈恩会小嶋病院及び医療法人清水会相生山病院は、地域医療構想の枠組みの中で、それぞれ回復期機能への転換及び充実化を検討しております。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間における医療・介護従事者等の相互派遣を実施し、回復期機能や在宅医療を充実 	<p>特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて派遣を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実 	<p>藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。研修メニューは、毎期、地域ニーズに合わせたプログラムを検討し、毎月の開催を予定しております。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立 	<p>高度急性期医療を担う藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。平成 30 年度にまず 1 施設へ導入し、平成 31 年度以降、希望する法人から順次接続いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 医療事故調査等に関する業務の連携 	<p>医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田保健衛生大学を中心に、グループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>平成 29 年 4 月に医薬品購入状況の調査を実施し、平成 29 年 6 月中に共同購入希望施設向け説明会を実施する。実質的な運用は平成 29 年 10 月から始めます。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化 	<p>平成 29 年 4 月からグループ内施設で共通で購入する医療機器の交渉依頼の申し出があった場合には交渉を開始いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化 	<p>藤田保健衛生大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。平成 29 年 4 月より実現可能性調査を実施、平成 31 年 12 月頃に実現いたします。</p>	
<p>介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供 	<p>既に豊明市において藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化 	<p>前述の藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた 24 時間 365 日オンコール体制によるバックアップ、24 時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 介護・医療従事者等の相互派遣を通じた在宅診療等の充実 	<p>各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への派遣を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立 	<p>前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。</p>	

下線部分：追加（平成 30 年 4 月 1 日現在）

地域医療連携推進法人尾三会 認可概要

1 名称・主たる事務所の所在地

名 称	尾 三 会
主たる事務所の所在地	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 9 8

2 医療連携推進業務

・ グループ内施設の機能分化
・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の相互派遣を実施し、回復期機能や在宅医療を充実
・ 医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実
・ グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立
・ 医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化
・ 医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化
・ グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化
【介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業】
・ 先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供
・ 「暮らし」を支える在宅診療のシステム化
・ 介護・医療従事者等の相互派遣を通じた在宅診療等の充実
・ グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立

今回変更なし

3 医療連携推進区域

名古屋市南区、名古屋市緑区、名古屋市天白区、岡崎市、豊川市、刈谷市、豊田市、西尾市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、愛知郡東郷町

今回変更なし

< 3 の医療連携推進区域から該当する地域医療構想区域 >

名古屋・尾張中部、尾張東部、知多半島、西三河北部、西三河南部東、西三河南部西、東三河南部

4 参加法人

法人名	病院名・施設名	市区町
医療法人財団善常会	善常会リハビリテーション病院	南区
南医療生活協同組合	総合病院南生協病院	緑区
医療法人清水会	相生山病院	緑区
医療法人なるみ会	第一なるみ病院	緑区
医療法人コジマ会	ジャパン藤脳クリニック	緑区
医療法人みどり訪問クリニック	みどり訪問クリニック	緑区
医療法人幸寿会	平岩病院	緑区
医療法人並木会	並木病院	天白区
社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ	地域密着型特別養護老人ホーム ひらばりみなみ	天白区
医療法人愛整会	北斗病院	岡崎市
医療法人鉄友会	宇野病院	岡崎市
医療法人十全会	三嶋内科病院	岡崎市
医療法人葵	葵セントラル病院	岡崎市
医療法人木南舎	富田病院	岡崎市
医療法人宝美会	総合青山病院	豊川市
医療法人明和会	辻村外科病院	刈谷市
医療法人社団同仁会	一里山・今井病院	刈谷市
公益財団法人豊田地域医療センター	豊田地域医療センター	豊田市
医療法人社団福社会	高須病院	西尾市
医療法人秀麗会	山尾病院	西尾市
医療法人贈恩会	小嶋病院	東海市
医療法人利靖会	前原整形外科リハビリテーションクリニック	大府市
医療法人秋田病院	秋田病院	知立市
学校法人藤田学園	藤田保健衛生大学病院	豊明市
社会福祉法人福田会	特別養護老人ホーム 豊明苑	豊明市
社会福祉法人あかいけ寿老会	特別養護老人ホーム 寿老苑	日進市
医療法人名翔会	老人保健施設 和合の里	東郷町
社会福祉法人東郷福社会	特別養護老人ホーム イーストビレッジ	東郷町

5 社員

[上記 4 の参加法人全てと]

- ・ 滝沢 健次郎 <たきざわ胃腸科外科> [個人開設] (みよし市)

医療連携推進方針の変更について

平成 30 年 6 月 26 日

地域医療連携推進法人 尾三会

1. 医療連携推進方針の変更内容

- 1) 「参加法人」を「参加法人、参加病院等」に変更する。
- 2) 「参加法人、参加病院等」に「医療法人木南舎 富田病院、たきざわ胃腸科外科、医療法人幸寿会平岩病院、及び社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ」を追加する。
- 3) 「**病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標**」を平成 30 年度以降の事業内容に変更する。

2. 変更の理由

- 1) 富田病院が平成 30 年 2 月に法人化され、「医療法人木南舎 富田病院」となったため。また法人でない社員「たきざわ胃腸科外科」を記載するため。
- 2) 名古屋市緑区の医療法人幸寿会平岩病院、及び名古屋市天白区の社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみが、平成 30 年 4 月 1 日付で新たに当法人の社員となったため。
- 3) **平成 29 年度の事業内容から、平成 30 年度以降の事業内容に変更したため。**

3. 変更年月日

平成 30 年 5 月 29 日（理事会議決）

新旧対照表（変更部分抜粋）（変更箇所：下線部分）

新	旧
<p>2. 参加法人、参加病院等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 ・医療法人清水会 相生山病院 ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院 ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック ・医療法人 みどり訪問クリニック ・医療法人並木会 並木病院 ・医療法人愛整会 北斗病院 ・医療法人鉄友会 宇野病院 ・医療法人十全会 三嶋内科病院 ・医療法人木南舎 富田病院 ・医療法人葵 葵セントラル病院 ・医療法人宝美会 総合青山病院 ・医療法人明和会 辻村外科病院 ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院 ・公益財団法人 豊田地域医療センター ・医療法人贈恩会 小嶋病院 ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック ・医療法人 秋田病院 ・学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院 ・社会福祉法人あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑 ・たきざわ胃腸科外科 ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里 ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑 ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 	<p>2. 参加法人（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院 ・医療法人清水会 相生山病院 ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院 ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック ・医療法人 みどり訪問クリニック ・医療法人並木会 並木病院 ・医療法人愛整会 北斗病院 ・医療法人鉄友会 宇野病院 ・医療法人十全会 三嶋内科病院 ・医療法人葵 葵セントラル病院 ・医療法人宝美会 総合青山病院 ・医療法人明和会 辻村外科病院 ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院 ・公益財団法人 豊田地域医療センター ・医療法人贈恩会 小嶋病院 ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック ・医療法人 秋田病院 ・学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院 ・社会福祉法人あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑 ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里 ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑 ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院

- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院
- ・医療法人幸寿会 平岩病院
- ・社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ
地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について
 特定機能病院である藤田保健衛生大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。

（略）

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田保健衛生大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの勉強会や研修業務の立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣することで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。

・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的に、より効率的に情報システムを利用するための方法について検討します。

・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田保健衛生大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断（Ai）等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成 29 年 10 月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。

・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グ

- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について
 特定機能病院である藤田保健衛生大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、医療法人贈恩会小嶋病院及び医療法人清水会相生山病院は、地域医療構想の枠組みの中で、それぞれ回復期機能への転換及び充実化を検討しております。

（略）

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。研修メニューは、毎期、地域ニーズに合わせたプログラムを検討し、毎月の開催を予定しております。

・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。平成 30 年度にまず 1 施設へ導入し、平成 31 年度以降、希望する法人から順次接続いたします。

・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田保健衛生大学を中心に、グループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成 29 年 4 月に医薬品購入状況の調査を実施し、平成 29 年 6 月中に共同購入希望施設向け説明会を実施する。実質的な運用は平成 29 年 10 月から始めます。

・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グ

<p>ループ内施設の経営の効率化を図ります。</p> <p>具体的には、グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。 <p>具体的には、藤田保健衛生大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。</p>	<p>ループ内施設の経営の効率化を図ります。</p> <p>具体的には、平成 29 年 4 月からグループ内施設で共通で購入する医療機器の交渉依頼の申し出があった場合には交渉を開始いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。 <p>具体的には、藤田保健衛生大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。平成 29 年 4 月より実現可能性調査を実施、平成 31 年 12 月頃に実現いたします。</p>
--	---

※参加法人について、これまでに医療体制部会に報告している法人については追加済
(最終：平成 29 年 12 月 5 日)

医療連携推進方針

※変更箇所を下線
(2018年5月29日現在)

1. 医療連携推進区域

愛知県名古屋市緑区、名古屋市天白区、名古屋市南区、岡崎市、豊川市、刈谷市、豊田市、東海市、大府市、知立市、豊明市、日進市、みよし市、西尾市、愛知郡東郷町

2. 参加法人、参加病院等

- ・南医療生活協同組合 総合病院南生協病院
- ・医療法人清水会 相生山病院
- ・医療法人なるみ会 第一なるみ病院
- ・医療法人コジマ会 ジャパン藤脳クリニック
- ・医療法人 みどり訪問クリニック
- ・医療法人並木会 並木病院
- ・医療法人愛整会 北斗病院
- ・医療法人鉄友会 宇野病院
- ・医療法人十全会 三嶋内科病院
- ・医療法人木南舎 富田病院
- ・医療法人葵 葵セントラル病院
- ・医療法人宝美会 総合青山病院
- ・医療法人明和会 辻村外科病院
- ・医療法人社団同仁会 一里山・今井病院
- ・公益財団法人 豊田地域医療センター
- ・医療法人贈恩会 小嶋病院
- ・医療法人利靖会 前原整形外科リハビリテーションクリニック
- ・医療法人 秋田病院
- ・学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院
- ・社会福祉法人 あかいけ寿老会 特別養護老人ホーム寿老苑
- ・たきざわ胃腸科外科
- ・医療法人名翔会 老人保健施設和合の里
- ・社会福祉法人東郷福祉会 特別養護老人ホームイースト・ヴィレッジ
- ・社会福祉法人福田会 特別養護老人ホーム豊明苑
- ・医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院
- ・医療法人社団福祉会 高須病院
- ・医療法人秀麗会 山尾病院
- ・医療法人幸寿会 平岩病院
- ・社会福祉法人地域福祉コミュニティほほえみ 地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ

3. 理念・運営方針

(理念)

尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期

医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。

(運営方針)

尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。

- ① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
- ② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
- ③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

・グループ内施設の機能の分化について

特定機能病院である藤田保健衛生大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。

・グループ内施設間における医療・介護従事者等の相互派遣を実施し、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて派遣を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。

・医療・介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療の充実化を図ります。

具体的には、藤田保健衛生大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田保健衛生大学包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療・介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣をすることで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。

・グループ内施設間での患者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、高度急性期医療を担う藤田保健衛生大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的に、

より効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。

- ・グループ内施設に対して医療事故調査等に関する業務の連携を実施し、安全な地域医療の実現に貢献します。

具体的には、医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田保健衛生大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断 (Ai) 等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。

- ・医薬品の一括交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、平成 29 年 10 月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。

- ・医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じ、グループ内施設の経営の効率化を図ります。

具体的には、グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。

- ・グループ内施設における給食サービスの共同化を実施し、適切な配食と経営の効率化を図ります。

具体的には、藤田保健衛生大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

- ・先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供します。

具体的には、既に豊明市において藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。

- ・「暮らし」を支える在宅診療のシステム化に貢献いたします。

具体的には、前述の藤田保健衛生大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた 24 時間 365 日オンコール体制によるバックアップ、24 時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。

- ・介護・医療従事者等の相互派遣を通じて、在宅診療等の充実に貢献いたします。

具体的には、各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への派遣を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。

- ・グループ内施設間での患者・利用者情報の共有化モデルを確立します。

具体的には、前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。